

なぎさ

パネル展示

フェスティバル当日、会場ロビーでは、17校区からパネル出展がありました。各校区の活動や取り組みを身近に感じ、とても刺激を受けました。



あなたと輪を広げたい

ともにつくろう いきいきとしたまち

(このしまアイランドパークのポピー)
(平成25年度 西区男女共同参画をすすめる会 年間テーマ)

編集 西区男女共同参画をすすめる会 (〒819-8501 福岡市西区内浜1丁目4-1)
発行 西区地域活動推進会

西区男女共同参画フェスティバル2013



花鼓周に寄せて

当初は、PTAのお母さん達で結成された「花鼓周」も20周年を迎えるそうです。家事や育児、仕事に追われ一人二人と団員も入れ変わりながら、今日まで続けてこられたのは、彼女たちのたゆまぬ努力と、厳しい練習の賜物だと思います。また今では、若い世代の子どもたちの育成にも力を入れているとのこと。まだまだ根強い男性社会の中で、企画から作曲、演出、そして運営まで全てを自らの手で成し遂げて行く彼女たちに、太鼓の響きとともに心打たれる思いでした。

会長 山岡 三重子



1月委員交流会・意見交換会

1月16日「地域での男女共同参画意識を高めるためには」をテーマに、ファシリテーター(会議等を円滑に進める)として岩永真一氏を迎え開催しました。

「私たちの子どもや孫が大人になったとき、日本はどのような国になっているのだろうか?」という問いかけから、グループに分かれ、ワールドカフェ方式で話し合いました。この方式は、参加者全員が必ず意見を言えるというメリットがあります。皆さんとても楽しそうで、有意義な時間を過ごすことができました。

会の最後に「今、自分たちに出来ることは何か?」ということを考え、紙に書き出しました。どんなに時代が流れても、変化してはいけない人としての思いやりや、絆を大切にしたい気持ちが家族や地域に反映することで、男性も女性も、共に伸びていけるのではないかと感じました。

北崎校区 岩城 聡美



編集後記

「なぎさ」に初めて関わり建設的な意見交流ができ、たいへん有意義な会を営むことができました。みなさまのご協力、ありがとうございました😊

西区男女共同参画表彰

吉崎校区男女共同参画の会

12月1日に「平成25年度西区男女共同参画表彰」表彰式が行われました。

この表彰は、地域において男女共同参画を推進し、男女共同参画社会の形成に貢献している個人または団体へ感謝の意を表するものとして与えられるものです。

今年度は多様な人材を活用し、新たな発想・視点を取り入れ、地域課題解決に向けた活動を行った吉崎校区が受賞しました。

吉崎校区受賞



フェスティバル発表校区的取り組み紹介

内浜校区

男女共同参画「女性の会」を平成23年「かがやきの会」と名称変更して、男性参加の促進や男女平等意識が浸透した地域を目指すために、校区文化祭へも積極的に参加し、男女共同参画オリジナル劇を啓発活動として行っています。過去の上演作品は、①これってへん!!②どっちかな?③お父さん出番ですよ。④平成のサザエさんが…⑤桃太郎いや桃子 でした。今年はその5作をまとめて「人生いろいろ」を上演しました。今後も男女共に『一人ひとりが尊重され生き活きと輝く地域社会』を目指していきます。



内浜校区 萩原 香代子



吉岐校区

みんなで語ろう吉岐未来の夢プラン



小学生から高齢者まで45名に参加していただき、校区の未来について語り合う場として、「みんなで参画ワールドカフェ」を実施しました。ここでのご意見をこの場だけの取り組みにせず、委員がわかりやすい寸劇や漫才風コントにして地域の皆様に発信してきました。

毎年公民館で実施していた“コンサート笑顔”を今年は地域内のスーパーで開催するなど、地元の拾六町商店会や西警察署のお巡りさんにもご協力いただき、男女共同参画の枠を越え、防犯や環境などについての啓発を一緒に行いました。

吉岐校区 石田 喜久美



あなたの意識をチェックしてみませんか!

12月1日に開催した西区男女共同参画フェスティバル2013で、来場者の皆さまに男女共同参画意識チェックを行いました。チェック項目と、集計結果から、皆さんはどのように考えますか? (来場者:230人)

チェック項目	はい	いいえ
①家事・育児・介護は女性がするものだ。	9人	107人
②女性は結婚したら仕事を辞め、家事・育児に専念する方がよい。	10人	107人
③男のくせに(男だから)女のくせに(女だから)といった言葉をよく使う。	30人	88人
④家族を養うのは、男性の役割である。	44人	72人
⑤共働きしている女性は、家事もきちんとし、家族に迷惑をかけてはいけない。	29人	89人
⑥職場や地域で、責任ある地位には男性が就く方がよい。	18人	98人

感想

フェスティバルのアンケートで、来場者の皆さまからたくさんのご意見やご感想をいただきました。その一部を紹介します。

- ☆花鼓周の太鼓に感激した。涙が出た。また見たい。パワーをもらった。
- ☆校区発表はわかりやすく勉強になった。熱心さが伝わった。
- ☆発表が素晴らしく、クイズは為になった。今後もこのような企画を。
- ☆初めて参加して、男女共同参画とはどのようなことを楽しく学ぶことが出来た。また出席したいと心から思った時間だった。
- ☆各校区のパネルを見て、いろいろな取り組みをしていることに興味した。

私たちの目指す社会が一日も早く実現するように…皆さんの言葉から活力をいただきました(♡^_^♡)

日本女性会議2013 あなん

2013年
10月11日~12日

テーマ:いきいき わくわく 小さなまちから新たなステージ!

今年の日本女性会議は、記念すべき第30回を迎えました。この節目となる大会に参加させていただいたことを心より感謝いたします。私は、第4分科会「まちおこし」に参加しましたが、地域の課題である若い人をいかに取り込んでいくのか、地域活性化とは何なのか、男女お互い気がつかないところを補い合って活性化に成功したり、取り組んでいる最中だったり試行錯誤しながら、懸命に老若男女、知恵を出し合っている姿などが生き生きと報告されました。

しかしながら実際には、運営スタッフが、かなりのご高齢であること、且つ若い人がいない中、高齢化の実態をまざまざと見てきたような気がします。男女共同参画社会という認識も、都市部とはかなり隔たりがあるように感じました。地方では、どこか女性が一步引いてイベントの運営をサポートする役に回りがちですが、女性の力も表舞台で発揮できるような社会であってほしい。そのためには、私に何ができるだろうと我を振り返るいい機会となりました。

福重校区 松尾 裕美



男女共同参画フォーラムin福岡市

12月5日に、平成25年度 男女共同参画フォーラムin福岡市が福岡国際会議場で開催されました。「多様性を活かした経営戦略」として、日産自動車のV字回復の一翼を担った、日本におけるマーケティングの第一人者、星野朝子氏の基調講演がありました。『企業は、女性に対し、家庭や子育てを理由に最初から無理だと決めつけず、管理職や海外赴任について本人に直接出来るか否かを問うべき』であり、『やる気のある女性はある』ということでした。

パネルディスカッションでは、「女性も男性も活躍できる職場、家庭、地域とは?」をテーマに、基調講演を受けて、パネリストから各企業内で女性が進出するようになった報告がありました。その中でも、九州大学大学院助教 佐藤氏の人気講座「婚学」の話は、身近に感じられ興味深かったです。自らが思い描く人生を自ら切り拓いていく力を身につける場として、開講しているそうですが、まず自分の人生を考えてから就職、結婚をするように学生に語っているとのことでした。

日頃あまり接することがない分野で活躍されている方々の話を聞く機会があったのも良かったです。女性の活躍には周りの理解による環境づくりが大事だと思いました。

吉岐校区 善本 幸子